

行政事務

相双農林事務所
農業振興普及部 農業振興課
平成28年度採用

わたしを表すKEY WORD

#外部コーチ

中学～大学までハンドボールをやっていた経験から、終業後や休日などに県内の高校で外部コーチをしています。生徒たちの成長を見るのが日々の生きがいです。

#旅行好き

まとまった休日に遠出することもあれば、弾丸で行くこともあります。その地域の食や文化に触れることが好きです。

#一生勉強

#一生青春

#フットワーク軽め



[職歴]

H28～ 保健福祉部 食品生活衛生課
H30～ 福島県立新地高等学校

R3～ 相双農林事務所
農業振興普及部 農業振興課

自分の成長が、将来の福島のためになる！

東日本大震災や原子力災害の影響を受けた相双地方の農業の復興・再生に向け、農業関連施設や機械の整備などを支援する補助金の事務を担当しています。

農業者や事業者と多くの協議を重ね完成した施設などが、帰還の促進や営農再開の加速に寄与していることを間近で実感することができ、とてもやりがいを感じます。

県職員を目指した理由

県外出身ですが、大学4年間を福島で過ごし、福島の人の良さや住みやすさなど、たくさんの魅力に触れてきました。その一方で、震災後の福島を知り、この地で何かやれることがあるのではないか、という思いが強くなり、幅広い視点で福島に携われる県職員を志望しました。



とある一日のスケジュール

8:30	メールの確認・整理
9:00	問い合わせ対応
10:00	補助金申請に係る打ち合わせ
12:00	昼休み

13:00	補助金事業の現場確認 事業内容の打ち合わせ
15:00	補助金申請に係る書類 整理、事務手続き
17:15	終業

休暇制度を有効活用できたエピソード

出身が県外のため、お盆などは夏季休暇を利用し帰省をしています。また旅行が好きなので、休日と合わせて長めの休みを取り、遠出するようにしています。最近是中国地方へ行きました。

**福島県職員として実現したいこと、目標としていること**

“福島に貢献できた”と胸を張って言えるようになることが、私の県職員としての目標です。そのために、未経験の分野や新しい仕事に対し、積極的に、かつ、やりがいをもって取り組み、また、ワーク・ライフ・バランスも大切にしながら、日々の経験を自分自身の成長につなげていきます。

受験者へメッセージ

「行政事務」は多岐にわたる業務の中で、色々な角度から福島に貢献することができます。その分勉強や学ぶことも多いですが、福島のために働きたいと思っている人なら、きっとやりがいを持てる職種です。将来皆様と一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！

